

2012年上半期 [1月～6月] コンピュータウイルス届出状況

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：藤江 一正）は、2012年上半期 [1月～6月] のコンピュータウイルス届出状況を集計しました。

1.届出件数

2012年上半期（1月～6月）の届出件数は5,300件となりました。下記グラフ（図1）は、IPAが受け付けた半期（6ヶ月）ごとの届出件数の推移を示したものです。

図1で示すように、ここ数年は減少傾向が続いており、2012年上半期においても2011年下半期から減少で推移しました。

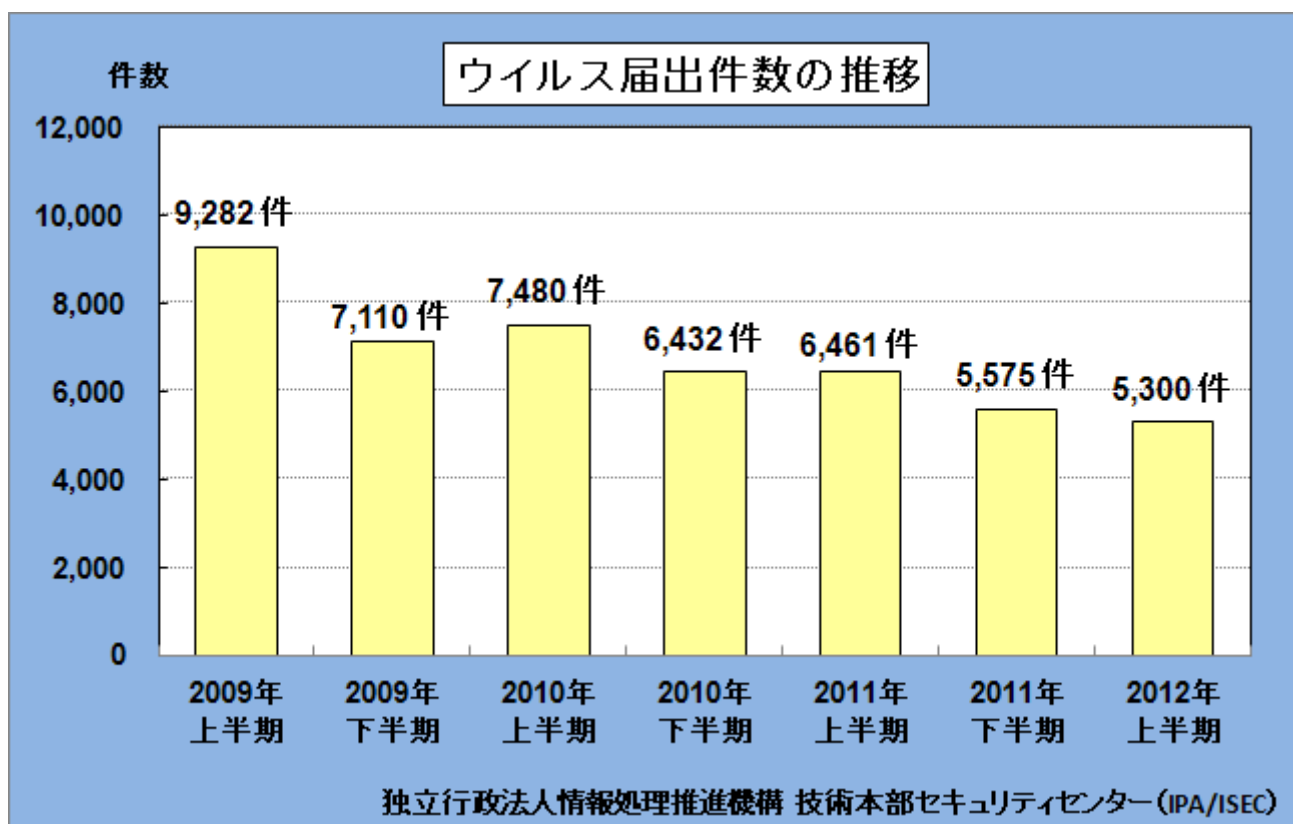


図1：ウイルス届出件数の推移

2.ウイルス検出数

1年間のウイルス検出数の推移を見ると、増減を繰り返しながらも少しずつ減少しています。この要因として、ウイルス全般の検出数が減少傾向にあることが挙げられます。

2012年1月はW32/Downadの検出数が極端に増加しました。このウイルスは、Windowsの脆弱性を悪用して感染を試みます、また、ネットワークやUSBメモリなどの外部記憶媒体を介して感染を拡大する機能があるため、1台のパソコンが感染被害に遭うと、瞬く間に感染が拡大するので注意が必要です。

2012年4月から6月にかけて、W32/Mydoomの検出数が多く見受けられました。これは、今まで検出数が多かったW32/Netskyと逆転したかたちになっています。

こうしたウイルスは全体的に減少傾向ではありますが、突如としてメールより大量に届く可能性がありますので、メールの添付ファイルには今後も注意する必要があります。

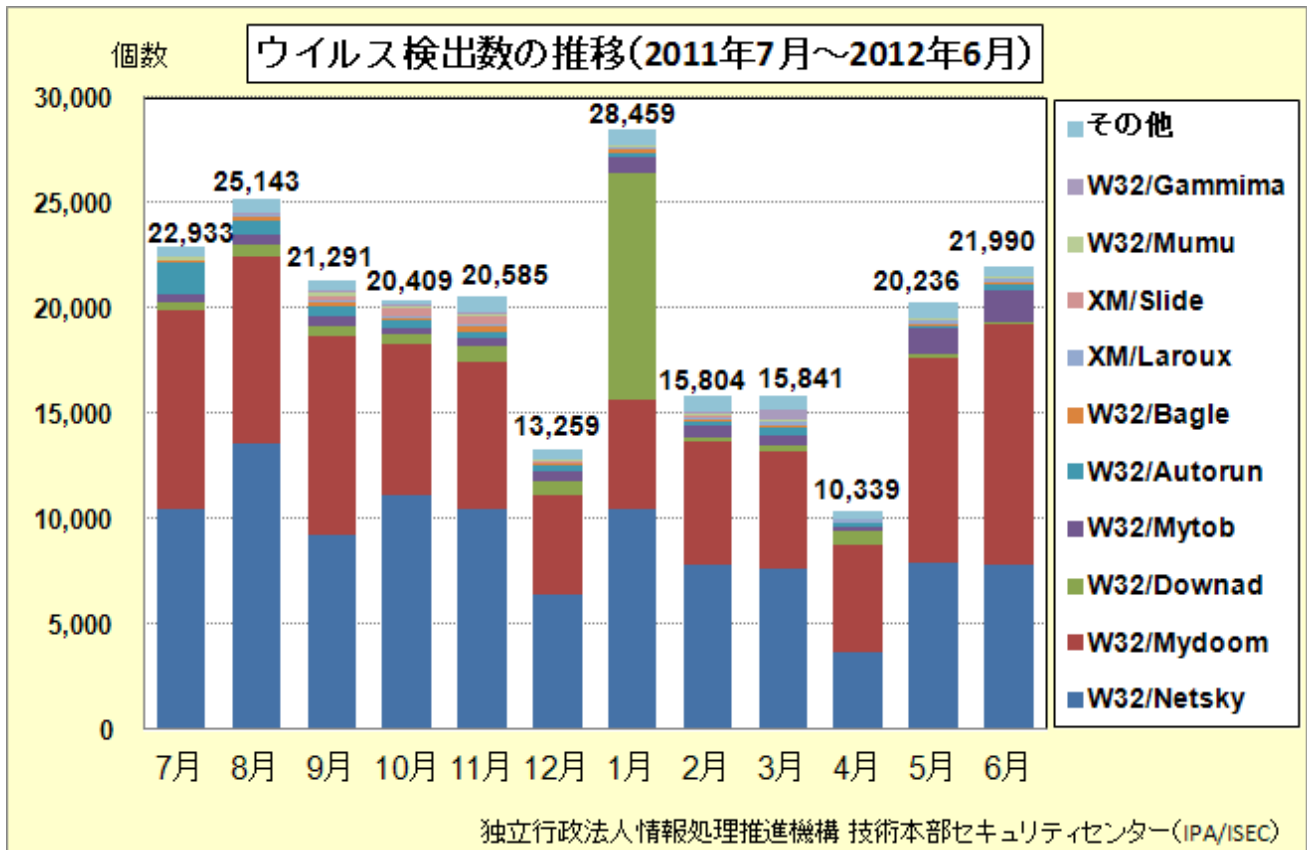


図2：ウイルス検出数の推移

3. ウィルス別届出件数

IPAに届けられたウイルス別届出件数の推移を見ると、2012年に入ってからW32/Mydoomの届出件数が多い状況です。また、USBメモリ経由で感染を拡大するW32/Autorunの届出は、2011年7月より減少傾向が続いています。

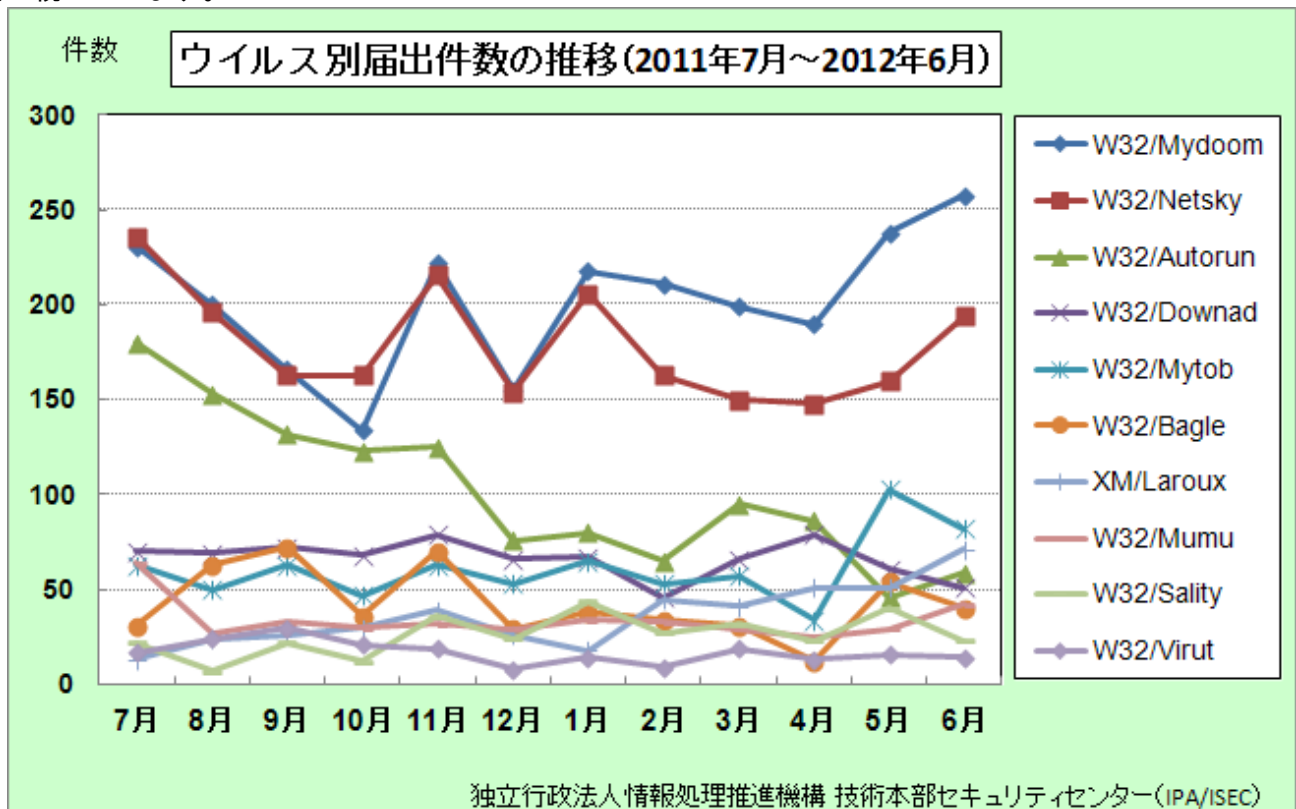


図3：ウイルス別届出件数の推移

4. 不正プログラム検出数

2012年1月から5月にかけて、正規のソフトウェアなどを装って感染を試みる Trojan/Horse が多く検出されました。

※ここでいう「不正プログラム検知数推移」とは、IPAに届出られたものの中から「コンピュータウイルス対策基準」におけるウイルスの定義に当てはまらない不正なプログラムについて集計したものです。

※コンピュータウイルス対策基準：平成12年12月28日（通商産業省告示 第952号）（最終改定）（平成13年1月6日より、通商産業省は経済産業省に移行しました。）

「コンピュータウイルス対策基準」（経済産業省）

<http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/CvirusCMG.htm>

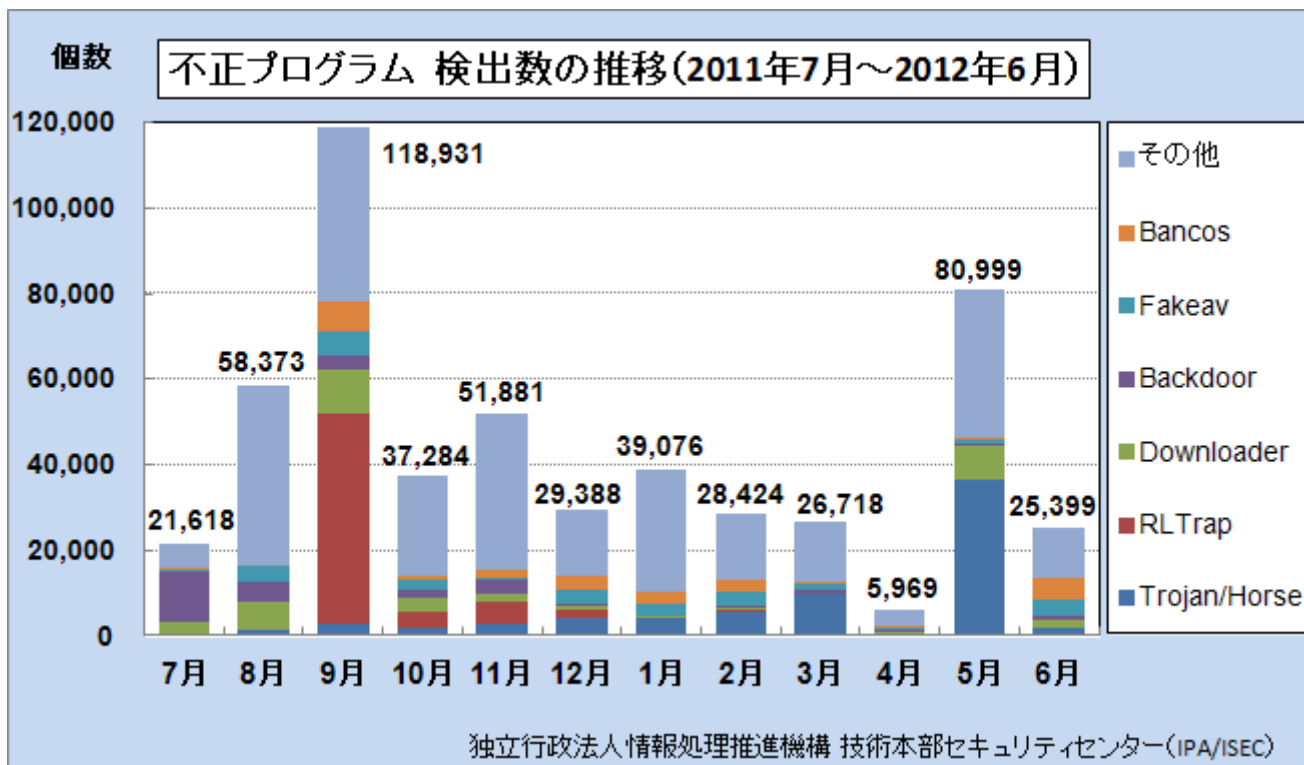


図4：不正プログラム検出数の推移

■お問い合わせ先

IPA セキュリティセンター 加賀谷／青木

Tel:03-5978-7591 Fax:03-5978-7518 E-mail: isec-info@ipa.go.jp